

(第3種郵便物認可)

# 平和の尊さ訴え 130人合唱

公演に向けて練習に励むレクイエム・プロジェクト長崎合唱団のメンバー



## 組曲、来月初披露

長崎市民会館

市民参加型の「レクイエム・プロジェクト長崎合唱団」の公演が8月6日午後2時から、長崎市魚の町の同市民会館である。歌うことで慰霊や鎮魂を伝える合唱団として2012年から活動している。今年初めて披露する組曲「生きとし、生けるものへ」は、地域や世代を超えて平和の尊さを訴えようとメンバーの願いによって作られた曲。当日は広島市などの合唱団も参加する予定で、30〜80代の男女約130人が平和への祈りを歌曲に込める。

組曲は、生後1カ月で被爆し、自らは被爆の記憶がない団員の小森厚子さん(72)と長崎市IIが「被爆者も被爆地にいない人も、歌を通して平和の思いを一つにしたい」と願

## 原爆や平和テーマの15本ドキュメンタリー上映

被爆から72年を迎えるのに合わせ、長崎のNHKと民放4局は30日から、長崎市の長崎原爆資料館ホールで、原爆や平和をテーマにしたドキュメンタリー番組を上映する。各局が1998〜2016年に制作した番組を3作品ずつ出している。NHKは「11時1分の刻印」、民放は「原爆の記憶」を上映する。入場無料。8月6日まで。



## 原爆テーマの曲生演奏

長大出身医師2人 長崎市長を訪問

長崎大医学部出身の医師2人による音楽グループ「インスハート」が6月30日、長崎市長役所を訪れ、田上富久市長に原爆をテーマにしたオリジナル曲「おはあちゃんのの」を演奏した。2人は、福岡県内の療務する形成外科医T. Iさん(29)と精神科医J. nさん(36)。九州を拠点とする。

「広い海原のどこからも若き兵士の命の断片が海鳴りの中で響き合う」合唱団の江頭麻里子代表は「若い人にとっても印象に残る曲。今ある生活にからめ捕られて、はるかかなたの空の果へと消えていつた。もらい、一緒に口ずさんでえれば」と話す。前売り千円(当日1500円)、高校生以下500円。問い合わせは実行委員会。田さん080(518)6692。(粘地波)